事例No.	1822
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	大阪府富田林市

事例区分	公営企業

タグ	・下水道事業 ・新たな政策手法の確立・活用

事例種類	PPP/PFI

事例内容・タイトル

不明水対策としての下水道管きょ長寿命化PFI事業

出典

公営企業の持続可能な経営の確保に向けた先進・優良事例集

【大阪府富田林市】
不明水対策としての下水道管きょ長寿命化PFI事業

PPP/PFI　下水道事業

大阪府富田林市上下水道部下水道課

● 取組の概要

不明水を削減するため、PFI手法を用いた下水管きょの長寿命化を行っている。

◆総事業費　487,177千円

◆背景

- 雨天時に流域処理場への侵入水が多く、流域下水道に支払う負担金のうち1割が不明水部分とされているほか、処理機能が足りず簡易放流を行っていた。また、将来的な管きょ施設における改築需要の増加や技術職員の減少など、経営状況の悪化が想定されていた。
- これらの課題を解決するために、第2期長寿命化事業の検討に際して、より効率的な事業を検討し、PFI事業を実施することとなった。

◆具体的内容

- 不明水対策を、①本管側の管更生、②取付管や桝の調査及び宅地内の誤接続調査の両面から実施し、誤接続調査後の改善工事についても併せて本事業で実施することとした。
- 管更生工事については、要求性能による発注とし、DB方式とした。

◆効果

- 管更生工事において一括発注及びDB方式の採用により、経費が削減された（約50,000千円）。
- 取付管や桝の調査を行っている結果、予防的な維持管理にもつながっている。

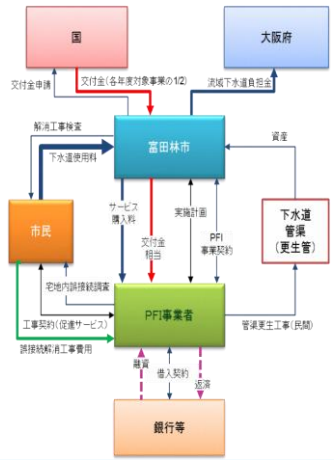
● 取組のポイント

- 不明水対策をより効果的に行うため、本管の管更生、宅地内の誤接続調査と本来個人が自主的に行うその解消工事についても併せてPFI事業にて行うこととした。
- 誤接続解消工事については事業者への成果報酬ではなく、個人への助成金を創設し、解消工事を促進している。
- ストックマネジメント関連事業だけでなく、誤接続調査についても効果促進事業として国の交付金の対象としている。

● 公営企業情報

- 行政区域内人口　108,989人（令和4年1月1日時点）
- 行政区域内面積　3,972km²（令和4年1月1日時点）
- 処理区域内人口　102,108人（令和3年度決算）

事業フロー



● 取組のスケジュール

- 平成30年　PFI事業の検討を開始
- 平成31年3月　事業者と契約

● 今後の展望

- 事業最終年度に効果を確認する流量調査を予定している。
- 今後、不明水の低減効果を踏まえ、他地区への展開を検討する。